

平成 30 年 福島県の貿易概況のポイント (確定値)

1. 福島県の貿易概況(前年比較)

・輸出額: 1,567 億 22 百万円 ⇒ 約 442 億円の増加(39.3%増)

2 年連続で過去最大の輸出額を更新

・輸入額: 5,237 億 53 百万円 ⇒ 約 820 億円の増加(18.6%増)

・輸出入合計: 6,804 億 74 百万円 ⇒ 約 1,262 億円の増加(22.8%増)

過去最大の輸出入合計額

【輸出動向】

輸出額は、平成 24 年以降 7 年連続の増加。

主に医薬品、船舶類、石油製品等が増加の要因。

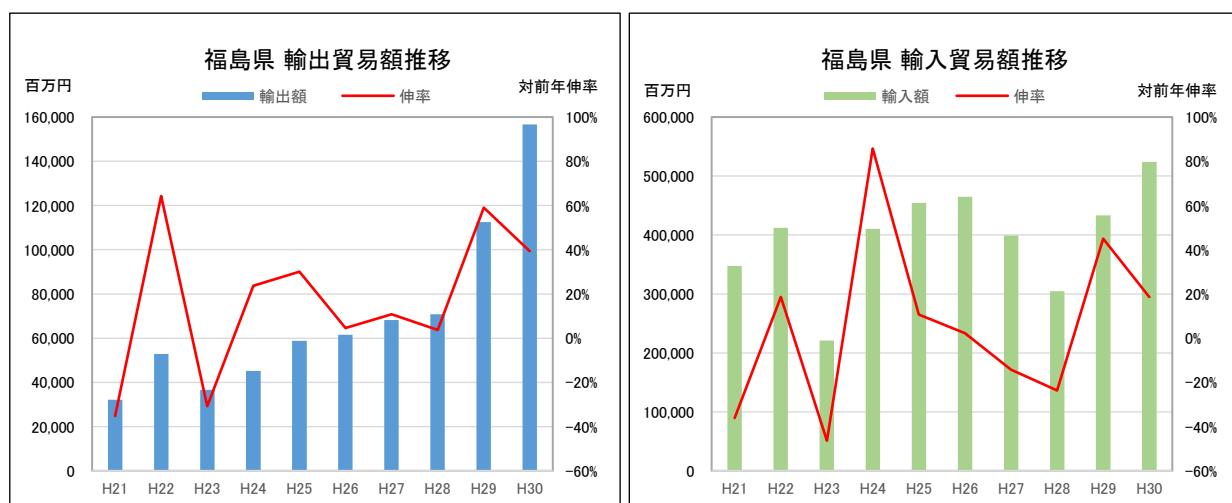
地域(国)別では、英国、中華人民共和国、パナマ等が増加。

【輸入動向】

輸入額は、平成 29 年以降 2 年連続の増加。

主に石炭、有機化合物、石油ガス類等が増加の要因。

地域(国)別では、オーストラリア、ベルギー、カナダ等が増加。



2. 港別の貿易概況(前年比較)

(1) 小名浜港

・輸出額: 964 億 31 百万円 ⇒ 約 513 億円の増加(2.1 倍)

過去最大の輸出額

・輸入額: 3,719 億 43 百万円 ⇒ 約 436 億円の増加(13.3%増)

・輸出入合計: 4,683 億 74 百万円 ⇒ 約 948 億円の増加(25.4%増)

【輸出動向】

輸出額は、平成 29 年以降 2 年連続の増加。

主に医薬品、船舶類、石油製品等が増加の要因。

地域(国)別では、英國、中華人民共和国、パナマ等が増加。

【輸入動向】

輸入額は、平成 29 年以降 2 年連続の増加。

主に有機化合物、非鉄金属鉱、石炭等が増加の要因。

地域(国)別では、ベルギー、オーストラリア、大韓民国等が増加。

(2) 相馬港

・輸出額: 602 億 90 百万円 ⇒ 約 70 億円の減少(10.5%減)

・輸入額: 1,518 億 9 百万円 ⇒ 約 385 億円の増加(33.9%増)

過去最大の輸入額

・輸出入合計: 2,121 億円 ⇒ 約 314 億円の増加(17.4%増)

2 年連続で過去最大の輸出入合計額を更新

【輸出動向】

輸出額は、前年と比較して反転減少。

主に原動機、鉄鋼、くぎ・ねじ・ボルト及びナット類等が減少の要因。

地域(国)別では、アメリカ合衆国、スペイン、ドイツ等が減少。

【輸入動向】

輸入額は、平成 29 年以降 2 年連続の増加。

主に石炭、石油ガス類、鉄鋼等が増加の要因。

地域(国)別では、オーストラリア、マレーシア、カナダ等が増加。

(3) 福島空港

・輸出額: 実績なし

・輸入額: 実績なし

・輸出入合計: 実績なし

【輸出動向】

8 年連続実績なし。

【輸入動向】

輸入額は、前年と比較して反転減少。

航空機類が減少の要因。

地域(国)別では、オーストリアが減少。

【参考】「速報」、「確報」及び「確定」について

貿易統計は、税関への輸出入申告等を基に作成していますが、申告時の誤りや輸出入取引による価格の変更等が生じる場合があります。そこで、できるだけ、正確な統計を提供すべく、申告者の皆様など関係者の方々にご協力いただき、訂正作業を行っています。

○速報

この訂正作業の第1段階の締切日で作成したものが「速報」です。

○輸入 9 行速報及び輸出確報

毎月の定期的な訂正作業の最終締切日で作成したものが「輸入 9 行速報」及び「輸出確報」です。

小名浜税関支署で提供する資料の「輸入：速報値」は、この輸入 9 行速報を使用しています。

※輸入 9 行：統計品目番号

○輸入確報

以前は、「輸入 9 行速報」はなく、上記の毎月の定期的な訂正作業の最終締切日の段階で、輸入についても輸出と同様に「確報」としていましたが、特例申告制度に対応するため、輸入については「確報」を1か月遅らせることになりました。

○確定

定期的な訂正作業を終了した後に訂正箇所が新たに発見された場合、統計数値をそのたびに訂正することはせず、翌年に一括して訂正を行い、「確定」とします。「確定」の発表以後は、訂正箇所が新たに発見されても、統計数値を変更しません。